



おさかなかわらばん瓦版

No. **70**
2016.3

シリーズ：貝かい 第2回だい かい

はまぐり



ふーちゃんのトピックス

第34回「海とさかな」自由研究・作品コンクール

「さかなと森の観察園」で受賞作品を展示します

はまぐり

～実は一種類じゃありません～



ハマグリ



チョウセンハマグリ



シナハマグリ

📷 はまぐり

日本で見かける「はまぐり」は、昔から日本にいるハマグリ、チョウセンハマグリのほか、輸入される「はまぐり」があります。輸入される「はまぐり」は、国内で獲れる量の数倍にもなり、そのうちの9割が中国産のシナハマグリです(📷)。

かつて日本の「はまぐり」といえば、波が静かな湾の中にすんでいるハマグリのことでした。しかし、ハマグリがすむ干潟が減ったり、水質が悪くなったりして、激減してしまいました。今や、日本で獲れる「はまぐり」のほとんどはチョウセンハマグリです。

チョウセンハマグリは、波の荒い外海に面した砂浜にいる日本産の「はまぐり」です。大きいものでは、からの長さが10センチにもなります。大昔から日本にいる貝で、貝がら

が縄文時代の地層や貝塚から見つかっています。しかし、その名前のせいか、輸入されたものや外国から入ってきたものとかんちがいされてしまいがちです。

チョウセンハマグリは7～9月に産卵します。ふ化した幼生は、アサリやカキなどと同じように、プランクトンとして2週間くらい海の流に身を任せて過ごします。長い距離を移動できますが、ほかの生き物に食べられてしまったり、エサが足りなくて死んでしまったりします。海岸から遠く離れた沖合に流されてしまうこともあり、危険がいっぱいです。プランクトンのときにどのくらい生き残れるかどうか、海底に着底する稚貝の量



あんじい
クボポイント
アドバンス

あんじい：ありとあらゆることを知っているナゾのさかな仙人です

蜃気楼は“はまぐりの妖怪”のせい？

遠くの建物や島が海の上に浮かんだように見える蜃気楼を知っておるかな？ 今では、密度に差がある空気の中を光が通るときに屈折するために起こる現象と分かっているが、昔の人は“大はまぐり”がはく気(息)で楼閣(大きな建物)が現れると考えていたんじゃ。

江戸時代の妖怪の本にも書かれておるんじゃぞ！

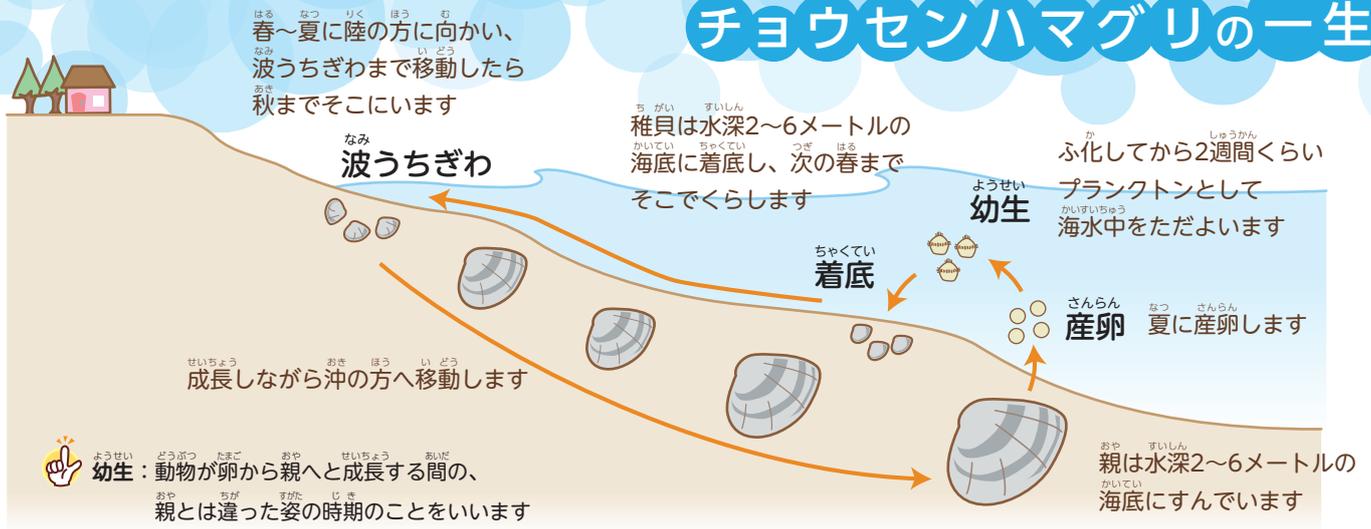
江戸時代の
妖怪の本



はまぐり

今昔百鬼拾遺 (作 鳥山石燕)

チョウセンハマグリ的一生

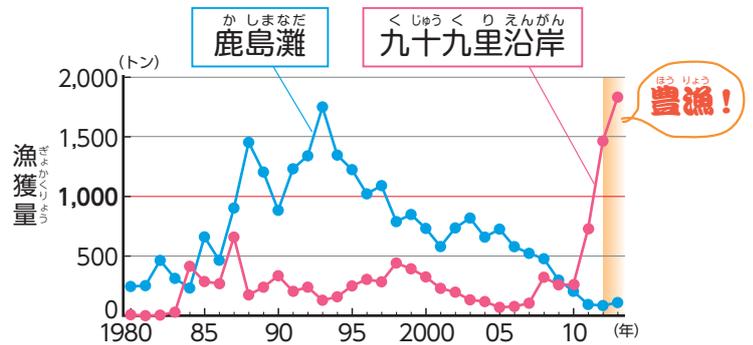


に大きく影響すると考えられます。実際、稚貝の量は年によって大きく変化します。

チョウセンハマグリの大部分は鹿島灘（茨城県）や九十九里沿岸（千葉県）で獲れますが、その漁獲量は大きく変化しています。

鹿島灘では、1990年代前半には年間1000トン以上でしたが、最近では100トンくらいまで落ちこんでいます。一方、九十九里沿岸は、1990年代から2011年まで70～660トンを上回していましたが、2012年に急に1000トンを超え、今も豊漁が続いています(▲●)。

水産総合研究センターでは、チョウセンハマグリの量がかわるしくみをさぐるため、茨城県や千葉県の研究機関と協力して、ふ化し



2006年までは農林水産統計、2007年以降は茨城県・千葉県提供のデータによる

▲● チョウセンハマグリの漁獲量

た幼生が海を移動する距離や広がり、生き残りの数などを調べています。

(宇田川 徹)



ひな祭りとはまぐり

ひな祭りで、はまぐりのお吸い物を食べる習慣があることを知っていますか？ これは、平安時代の「貝合わせ」からきています。はまぐりの貝がらは、対になっていた貝がら同士でないとぴったり合わないため、貝がらの内側に絵を描いてペアをさがす貝合わせというトランプの神経衰弱のような遊びがはまりました。そこから「一生仲の良い夫婦になるように」との願いをこめ、嫁入り道具とされるようになりました。ときが経ち、女の子の幸せを願うひな祭りに、はまぐりが食べられるようになったのです。





ふーちゃんのトピックス

Fuchan's Topics

5月5日のこどもの日は、
小学生以下の入園料(100円)
が無料になります

「さかなと森の観察園」
〒321-1661 栃木県日光市中宮祠 2482-3
☎ 0288-55-0055
★電頭の滝のすぐ近く!

<http://www.fra.affrc.go.jp/nikko/>

第34回「海とさかな」自由研究・作品コンクール 「さかなと森の観察園」で 受賞作品を展示します

第34回「海とさかな」自由研究・作品コンクール(朝日新聞社、朝日学生新聞社主催)では、「研究部門」と「創作部門」合わせて16点の作品が最優秀賞に選ばれました。その中から、水産総合研究センター理事長賞の2作品と農林水産大臣賞の2作品を栃木県日光市の「さかなと森の観察園」に展示します。すばらしい作品をぜひ見に来てください。
「さかなと森の観察園」は冬期休園していましたが、3月20日から開園します。

自由研究 「私の家の小さな海～ウニの眼に迫る～」

研究部門

水産総合研究センター理事長賞

つくばだいがくふぞくしょうがっこう 6年生 たしかわ まなさん
筑波大学附属小学校 6年生 瀧川 愛那さん

自由研究 「痩せていく日本を救え!! ～海岸の研究～」

研究部門

農林水産大臣賞

かながわけんかまくらしりつつかまくらしょうがっこう 5年生 もちづき まゆかさん
神奈川県鎌倉市立西鎌倉小学校 5年生 望月 麻結香さん

工作 「えびカゴ漁」

創作部門

みやぎけん仙台しりつねのしろいししょうがっこう 3年生 たけだ ひなさん
宮城県仙台市立根白石小学校 3年生 武藏 姫奈さん

絵画 「あいたいな リュウグウノツカイ」

創作部門

あいちけんおがきしりつうえししょうがっこう 2年生 すぎもと ゆうだいさん
愛知県岡崎市立上地小学校 2年生 杉本 雄大さん

水産総合研究センターは「水産研究・教育機構」になります!

水産総合研究センターは2016年4月1日から「水産研究・教育機構」に名前が変わります。新しく水産大学校と一っしょになって、これまで以上に日本の水産業をリードする研究開発や人材育成機関としてがんばっていきます。「おさかな瓦版」も引き続きよろしくお願ひします。

ふーちゃん と ふっくん : あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 No.70 (2016年3月発行)

編集・発行: 国立研究開発法人 水産総合研究センター
質問の送り先・お問い合わせ先: 広報室
〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 15階
TEL. 045-227-2600 FAX. 045-227-2702
ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻のことでわからないことがあったら、広報室までハガキを送ってね。<聞きたいことの内容>、<学年>、<住所>、<名前>を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

表紙写真

はまぐり